

子育てワンポイント 励ましのことば11

両親のつとめ①

**夫婦が真に一致した人格的關係を
持っている、子どもはそこにあるべき
人間關係の姿を見い出します。**



(人格は神のかたちであるように、)夫婦もまた「神のかたち」です。夫婦から子どもが生まれ、家族が生じ、社会が形成され、文化と歴史がつくられてきました。両親のつとめは何でしょうか？

それは子どもを養い、守り、導くことですが、もっとも大切な務めは、夫婦のなかにあらわされる人格(神のかたち)を子どもたちに体験的に見せるということです。夫婦が真に一致した人格的關係を持っている、子どもはそこにあるべき人間關係の姿を見い出し、自らの人格が健全に成長してゆきます。

ある家庭の食事に呼ばれたことがあります。4歳くらいの子どもが食事中に騒いだのですが、お父さんがパチンッと指を鳴らすと、その子はビクッとして姿勢を正しました。お父さんが怖いのです。しかし食事の後、その怖いお父さんの膝に甘えて乗っかってくるのです。お父さんはしっかりと子どもを抱きしめ「アイラブユー」と言ってあげるのです。これは理想的です。

もし怖いだけでしたら、子どもには恐れしか残りません。それは子どもに拒絶感と存在不安をもたらします。あるいは、抱きしめるだけで善悪を正すことがなければ、それは甘えとなり、子どもを軸のない人格がつくられ、これもやはり存在不安をもたらせます。

父性の特徴は「切り離し」であり、母性の特徴は「受容」です。この両者が一つである時に、夫婦を通して神のかたち(人格)が現わされます。つづく...

子どもに向き合う前に、夫婦で向き合うことができれば、子育てが自然とできるということでしょう。チャレンジングな内容ですが、「できるかできないか」でなく、謙虚に学んでゆきたいと思います。K